

地域医療連携課だより

家族の疲れ癒します

～レスパイト入院受付中～

石狩病院では、地域包括ケア病床を23床有しております。介護者の疲れ、入院、旅行、冠婚葬祭などにより在宅介護が困難となった場合に一時的にレスパイト入院をお受け入れいたします。

対象患者様等の詳細は同封の別紙をご参照ください。

今回は、レスパイト入院をご利用していただいた患者様の事例を2件ご紹介いたします。ご参考になれば幸いです。

～事例のご紹介～

① ご家族の入院によるレスパイト

Aさん 70代女性 入院期間：2022/5/9～2022/6/10（33日間）
病名：慢性腎不全（透析患者）

ご相談

●5/9 近隣医療機関よりご相談ありました。
介護者であるご主人様が他院入院し独居になるため、それに伴いご本人様も別の医療機関へ入院予定だったがコロナの影響で入院が急遽不可に。
そのためかかりつけ医ではなかったのですが、当院へ入院依頼となりました。

入院

●ご相談より即日入院となりました。

リハビリ

●入院中、リハビリと透析を実施いたしました。
リハビリは1日1時間程度、両下肢ストレッチ、股関節周囲筋ストレッチ、腰背部筋リラクゼーション、下肢関節可動域練習、筋力増強練習等を理学療法士が実施いたしました。

退院

●6/10 退院となりました。
他院で入院中のご主人様の入院が長期化する可能性があり、その点を考慮して退院先選定をご支援いたしました。



② ご家族の介護疲れによるレスパイト

Bさん 80代女性 入院期間：2021/10/1～2021/10/14（14日間）
病名：高血圧症、脳梗塞後遺症

ご相談

●9/6 ケアマネージャーよりご相談がありました。
介護者の息子様の介護疲れのため、かかりつけである当院へ入院依頼がありました。
これまではショートステイなどをご利用していたが、ご本人様の体調があまり安定していないため地域包括ケア病床を検討したとお話がありました。
担当医に相談後、その日のうちに受け入れできると返答し、ご家族の希望で10/1入院予約となりました。



入院

●10/1 入院。

リハビリ

●1日1時間程度、両下肢ストレッチ、腰部リラクゼーション、筋力増強練習、立位練習、歩行練習等を理学療法士が実施。

退院

●10/14 退院。

自宅では杖を使用していましたが、歩行器の方がよいのでは、とリハビリ担当者の見立てがあり、入院中に福祉用具を見直し、退院後は歩行器を使用することになりました。また、ご本人が自宅での生活について不満に思っていることがあったのでソーシャルワーカーがお話を伺い、退院後の希望をケアマネージャーへ依頼することができ、安心して退院されました。

通常入院期間は1週間～2週間程度を目安としていますが、それぞれのご家庭のご要望等をお聞きしながら、期間についてもご相談に応じます。

①の事例のように、ベッドの空き状況等によってはご相談より即日での入院が可能な場合もあります。

ベッドには常に動きがございますので、なるべく早い対応ができるよう調整いたします。

対象の患者様がいらっしゃいましたら、ぜひお気軽にご相談ください。

編集後記

地域医療連携課だより第6号をお読みいただきありがとうございます。

今年もマスク生活での夏がやってきます。まだまだ油断のできない状況が続いておりますが、暑さ対策も忘れずに、皆様どうぞご自愛ください。（事務 中村）



社会医療法人 ピエタ会
石狩病院

住 所 〒061-3213 石狩市花川北3条3丁目6-1

T E L 0133-68-5001（直通）

F A X 0133-68-2211（直通）

メール i-msw@ishikari-hosp.jp

ホームページ <https://ishikari-hosp.jp/>

地域医療連携課 安西 丸山 寺田 千葉 成ヶ澤 中村